

神奈川県スポーツ推進計画見直し（骨子案）

1 計画見直し後の施策・事業体系（案）について

(1) 既存計画のスポーツ推進の施策・事業体系について

ア スポーツ推進の施策・事業体系については、3つ「視点」9つの「施策」に整理されています。

イ 「視点」1は、「誰もが生涯を通じて楽しめるスポーツ活動の推進」を目標とし、ライフステージを乳幼児期、児童・青年期、成人期、円熟期の4つの「施策」に分け、「主な取組み」として3033運動の推進などを示しています。

ウ 「視点」2は、「スポーツ活動を広げる環境づくりの推進」を目標とし、スポーツ活動の環境整備、障がい者スポーツの推進、アスリートの育成の3つの「施策」に分け、「主な取組み」としてスポーツ環境の基盤となる「人材」の育成と「場」の充実などを示しています。

エ 「視点」3は、「オリンピック・パラリンピックなどを盛り上げていく取組み」を目標とし、大会成功に向けた開催準備、大会を契機としたスポーツの普及推進の2つの「施策」に分け、「主な取組み」としてラグビーワールドカップや東京 2020 大会などを示しています。

【既存計画での記載例】

視点1 誰もが生涯を通じて楽しめるスポーツ活動の推進

施策1 楽しみながら行うスポーツへのきっかけづくり（主に乳幼児期）

【主な取組み】

ア 家庭での遊び・運動の推進

○ 子ども向け 3033 運動の推進

親子で取り組める体操リーフレットやDVDなどの配布により、親子や家族で取り組む 3033 運動を推進し、保護者と一緒に楽しむスポーツを奨励します。

(2) 「神奈川県スポーツ推進審議会における委員からの主な意見の整理」（参考資料1）について

ア 既存計画の策定後に開催したスポーツ推進審議会での意見について、「視点」「施策」「主な取組み」ごとに整理しました。

イ また、上記で整理した意見について、計画の見直しにおける対応の方向性を、◎は新規に取り組むもの、○は既存の取組みを拡充するもの、■は既存の取組みを継続し、運用の中で対応するものに整理しました。

(3) 計画見直し後の施策・事業体系（案）への記載について

ア 計画見直し後の施策・事業体系（案）への記載については、上記で整理した計画の見直しにおける対応の方向性を、既存計画の施策・事業体系図に見直し後の主な取組み（案）として落とし込んだものとなっています。

2 計画見直し後の施策・事業体系（案）

○ 計画の施策・事業体系と主な取組み

視点1			誰もが生涯を通じて楽しめるスポーツ活動の推進
施策	主な取組み		◎は新規の取組み、○は既存の取組みを拡充、■は既存の取組み継続 見直し後の主な取組み（案）
楽しみながら行う スポーツへのきっかけづくり （主に乳幼児期） 「体を動かす楽しさの芽生え」 1	家庭での遊び・運動の推進 ・ 子ども向け3033運動の推進 ・ 家族で楽しめるスポーツイベントの開催 地域での遊び・運動の推進 ・ 子どもの外遊び、スポーツの推進 ・ 総合型地域スポーツクラブ等におけるスポーツ活動の機会提供 ・ 幼児期からの運動習慣づくりの推進		家庭での遊び・運動の推進 ■ 子ども向け3033運動の推進 ■ 家族で楽しめるスポーツイベントの開催 地域での遊び・運動の推進 ■ 子どもの外遊び、スポーツの推進 ■ 総合型地域スポーツクラブ等におけるスポーツ活動の機会提供 ○ 幼児期からの運動習慣づくりの推進
スポーツに親しむ意欲や態度の育成 （主に児童・青年期） 「スポーツライフの基礎づくり」 2	体育・健康教育の充実 ・ 子どもの体力向上・運動習慣確立・生活習慣改善の推進 ・ 教員の指導力向上に向けた研修の充実 ・ 体力・運動能力や運動習慣等調査の活用の推進 部活動の活性化 ・ 県内中学校・高等学校における部活動活性化 ・ 生徒のニーズを捉えた新しい部活動の推進 地域におけるスポーツ活動の推進 ・ 地域におけるスポーツ活動の推奨 ・ アスリートとの連携によるスポーツ体験教室の実施 ・ 地域における子どもの運動習慣確立の推進 ・ 総合型地域スポーツクラブ等におけるスポーツ活動の機会提供（再掲）		体育・健康教育の充実 ■ 子どもの体力向上・運動習慣確立・生活習慣改善の推進 ■ 教員の指導力向上に向けた研修の充実 ■ 体力・運動能力や運動習慣等調査の活用の推進 部活動の活性化 ■ 県内中学校・高等学校における部活動活性化 ■ 生徒のニーズを捉えた新しい部活動の推進 ◎ （保健体育課 調整中） 地域におけるスポーツ活動の推進 ○ 地域におけるスポーツ活動の推奨 ■ アスリートとの連携によるスポーツ体験教室の実施 ■ 地域における子どもの運動習慣確立の推進 ■ 総合型地域スポーツクラブ等におけるスポーツ活動の機会提供（再掲）
スポーツを行う習慣の確立 （主に成人期） 「スポーツライフの実践」 3	スポーツに親しむ機会の充実 ・ 県民スポーツ月間の設定 ・ 多様なスポーツ活動機会の提供 ・ 「観る」「支える」スポーツ活動の推進 ・ 総合型地域スポーツクラブ等におけるスポーツ活動の機会提供（再掲） 3033（サマルサナン）運動の推進 ・ 3033運動の普及・啓発 ・ 3033運動の実践 ・ 体力測定と医事相談による3033運動の実践支援		スポーツに親しむ機会の充実 ■ 県民スポーツ月間の設定 ■ 多様なスポーツ活動機会の提供 ■ 「観る」「支える」スポーツ活動の推進 ■ 総合型地域スポーツクラブ等におけるスポーツ活動の機会提供（再掲） 3033（サマルサナン）運動の推進 ■ 3033運動の普及・啓発 ■ 3033運動の実践 ■ 体力測定と医事相談による3033運動の実践支援
スポーツを通じた 健康・生きがいのづくり （主に円熟期） 「健康寿命の延伸」 4	レクリエーションスポーツの推進 ・ レクリエーションスポーツの普及推進 ・ レクリエーション教室などへの支援 ・ 第34回全国健康福祉祭（ねんりんピック）に向けた取組み ・ 総合型地域スポーツクラブ等におけるスポーツ活動の機会提供（再掲） 体の状態や体力に応じた運動の推進 ・ 高齢者向け3033運動プログラムの普及と活用促進 ・ 「コグニサイズ」の推進		レクリエーションスポーツの推進 ■ レクリエーションスポーツの普及推進 ■ レクリエーション教室などへの支援 ■ 総合型地域スポーツクラブ等におけるスポーツ活動の機会提供（再掲） 体の状態や体力に応じた運動の推進 ■ 高齢者向け3033運動プログラムの普及と活用促進 ■ 「コグニサイズ」の推進

視点 2		スポーツ活動を広げる環境づくりの推進	
施策	主な取組み	◎は新規の取組み、○は既存の取組みを拡充、■は既存の取組み継続 見直し後の主な取組み（案）	
スポーツ活動の環境整備	スポーツ環境の基盤となる「人材」の育成と「場」の充実 <ul style="list-style-type: none">・スポーツにかかわる多様な人材の育成と活躍の場の確保・障がい者スポーツを支える人材の育成・スポーツ推進委員との連携の強化・スポーツ功労者の表彰の実施・県立学校体育施設や大学・企業等のスポーツ施設開放の推進・県立スポーツ施設の管理・運営方法の改善・県が管理するオープンスペースの有効活用・県内スポーツ施設の整備	スポーツ環境の基盤となる「人材」の育成と「場」の充実 <ul style="list-style-type: none">■ スポーツにかかわる多様な人材の育成と活躍の場の確保■ 障がい者スポーツを支える人材の育成■ スポーツ推進委員との連携の強化■ スポーツ功労者の表彰の実施■ 県立学校体育施設や大学・企業等のスポーツ施設開放の推進■ 県立スポーツ施設の管理・運営方法の改善■ 県が管理するオープンスペースの有効活用■ 県内スポーツ施設の整備	
	体育センターの再整備 <ul style="list-style-type: none">・ スポーツ振興拠点としての整備・ 事前キャンプへの対応	県立スポーツセンターの整備	
	地域コミュニティの中心となる総合型地域スポーツクラブの質的充実 <ul style="list-style-type: none">・ 総合型地域スポーツクラブの育成・支援・ 総合型地域スポーツクラブの質的充実・ 総合型地域スポーツクラブ等におけるスポーツ活動の機会提供（再掲）・ 地域におけるスポーツ活動の推奨（再掲）	地域コミュニティの中心となる総合型地域スポーツクラブの質的充実 <ul style="list-style-type: none">■ 総合型地域スポーツクラブの育成・支援■ 総合型地域スポーツクラブの質的充実■ 総合型地域スポーツクラブ等におけるスポーツ活動の機会提供（再掲）■ 地域におけるスポーツ活動の推奨（再掲）	
	スポーツを通じて地域を盛り上げる取組み <ul style="list-style-type: none">・ 豊かな自然環境を活かしたスポーツの体験教室の開催・ かながわシープロジェクトの推進・ スポーツツーリズムの促進・ スポーツ推進委員との連携の強化（再掲）	スポーツを通じて地域を盛り上げる取組み <ul style="list-style-type: none">■ 豊かな自然環境を活かしたスポーツの体験教室の開催■ かながわシープロジェクトの推進■ スポーツツーリズムの推進■ スポーツ推進委員との連携の強化（再掲）	
	スポーツ医・科学の活用促進 <ul style="list-style-type: none">・ 大学、スポーツ関係団体や県医師会と連携したスポーツ医・科学の活用促進・ スポーツ医・科学を活用した女性アスリートの支援・ 栄養面でのサポートの推進・ 体力測定と医事相談による3033運動の実践支援（再掲）	スポーツ医・科学の活用促進 <ul style="list-style-type: none">■ 大学、スポーツ関係団体や県医師会と連携したスポーツ医・科学の活用促進	
障害者スポーツの推進	クリーンでフェアなスポーツの推進 <ul style="list-style-type: none">・ 安心してスポーツができる環境の整備・ ドーピング防止活動の支援・ 県民へのオリンピック・パラリンピックの意義の理解促進	クリーンでフェアなスポーツの推進 <ul style="list-style-type: none">■ 安心してスポーツができる環境の整備■ ドーピング防止活動の支援■ 県民へのオリンピック・パラリンピックの意義の理解促進	
	障害者スポーツの機会拡大 <ul style="list-style-type: none">・ 総合型地域スポーツクラブや学校施設等の活用・ 障がい者スポーツ関係団体との連携・協働の推進・ パラリンピアンの育成・支援・ 競技活動の場の提供・ 障がい者スポーツを支える人材の育成（再掲）	障害者スポーツの機会拡大 <ul style="list-style-type: none">○ 総合型地域スポーツクラブや学校施設等の活用■ 障がい者スポーツ関係団体との連携・協働の推進■ 競技活動の場の提供■ 障がい者スポーツを支える人材の育成（再掲）◎ （障がい者アスリートの支援）◎ （スポーツセンターを活用した障がい者スポーツの推進）	
アスリートの育成	障害者スポーツの理解促進 <ul style="list-style-type: none">・ 「かながわパラスポーツ」普及イベントの実施・ 障がい者スポーツの普及推進・ 学校における「かながわパラスポーツ」の普及（再掲）	障害者スポーツの理解促進 <ul style="list-style-type: none">■ 「かながわパラスポーツ」普及イベントの実施■ 障がい者スポーツの普及推進■ 学校における「かながわパラスポーツ」の普及（再掲）◎ （スポーツセンターを活用した障がい者スポーツの推進）（再掲）	
	競技力の向上 <ul style="list-style-type: none">・ 国民体育大会へのコーチ、トレーナー等の派遣支援・ 地域スポーツとアスリートの連携推進・ スポーツ優秀選手の表彰の実施・ ジュニア世代を対象とした競技力向上の機会提供・ 大学、スポーツ関係団体や県医師会と連携したスポーツ医・科学の活用促進（再掲）・ 競技活動の場の提供（再掲）	競技力の向上 <ul style="list-style-type: none">■ 国民体育大会へのコーチ、トレーナー等の派遣支援■ 地域スポーツとアスリートの連携推進■ スポーツ優秀選手の表彰の実施■ 大学、スポーツ関係団体や県医師会と連携したスポーツ医・科学の活用促進（再掲）■ 競技活動の場の提供（再掲）◎ タレント発掘・育成の支援◎ スポーツ医科学・栄養サポートの支援（再掲）	
アスリートの育成	トップアスリートの育成 <ul style="list-style-type: none">・ 東京2020オリンピック競技大会に向けたトップアスリートの育成・支援・ 全国レベルで活躍するトップアスリートの育成・強化・ トップアスリートのキャリア形成の支援・ パラリンピアンの育成・支援（再掲）	トップアスリートの育成 <ul style="list-style-type: none">■ トップアスリートのキャリア形成の支援◎ （障がい者アスリートの支援）（再掲）◎ （タレント発掘・育成の支援）（再掲）	

視点3

オリンピック・パラリンピックなどを盛り上げていく取組み

施策	主な取組み
大会成功に向けた開催準備	ラグビーワールドカップ2019™に向けた取組み ・大会運営に関する取組み ・大会に向けた機運の醸成 東京2020大会・セーリング競技などに向けた取組み ・江の島（湘南港）開催に向けた整備 ・大会に向けた機運の醸成 ・神奈川県の手選手を中心とした日本人選手への支援 ・東京2020オリンピック競技大会における本県開催のその他の競技に向けた取組み
大会を契機としたスポーツの普及推進	大会を身近に感じられる取組み ・事前キャンプの誘致 ・大会ボランティアの参加促進 ・学校におけるオリンピック・パラリンピック教育の推進（再掲） ・学校における「かながわパラスポーツ」の普及（再掲） ・県民へのオリンピック・パラリンピックの意義の理解促進 ・「かながわパラスポーツ」普及イベントの実施（再掲） ・大会に向けた機運の醸成（再掲） レガシーの創出 ・公益財団法人日本オリンピック委員会（JOC）と連携したスポーツ推進 ・体育センターの再整備（再掲） ・パラリンピアン育成・支援（再掲） ・東京2020オリンピック競技大会に向けたトップアスリートの育成・支援（再掲） ・江の島（湘南港）開催に向けた整備（再掲） ・生涯にわたるスポーツの推進

視点3

施策	見直し後の主な取組み（案）

		その他 審議会における主な意見
(1)新型コロナウイルス感染症関連		・コロナ禍において新たなスポーツ的な取組みの展開を検討していただきたい。
		・見直しに当たっては、コロナがスポーツ実施率にどのように影響したのかを詳しく分析していただきたい。
		・見直しに当たっては、感染対策についての記載について検討。
		・コロナに対して個人個人がどのように注意したらよいか、具合が悪くなった時にどうしたらいいかの対応について記載を検討。
		・コロナ禍のスポーツ実施時のマスク着用の有無やワクチン接種の有無などに対しての感染偏見対策についての記載を検討。
		・コロナによってスポーツにもたらした弊害やコロナ禍においてもできる運動などをスポーツ推進審議会から発信することを検討。
(2)その他		・オリンピック・パラリンピックを契機としてスポーツ選手の心のケアについて、どの人も心の不調をすぐに相談し、口に出せる環境づくりについて検討。
		・「未病」や「ともに生きる社会かながわ」などのスポーツを通じた取組みについて積極的に取り組むことが大切。
		・計画の見直しに当たっては、どこまでの何をどのような営みをスポーツと呼べるのかというのかを議論していきたい。
		・スポーツを「する・観る・支える」という視点でとらえると、観るも重要。
		・県立スポーツセンターにおいては競技の選手情報収集やメジャーでない種目の支援などが神奈川県における選手の発掘につながる
		・県立スポーツセンターにおいては障がい者のスポーツ機会を増やすためには、障がいの種類等によって使用可能な施設の情報が必要。